


# 災害事例報告（休業）

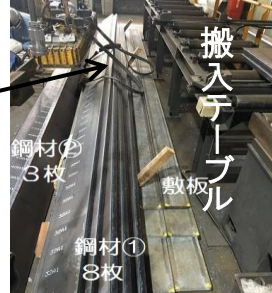
登録番号	18-006	登録日：2021年2月26日				
会社名			発生日時	2018年 4月 4日 13時頃		
発生場所	丸鋸切断場 部材置場					
被災者	氏名	A 氏	年齢	42歳	役職	一般
	直外区分	直営	勤務経験	22年0ヶ月	作業経験	18年5ヶ月
傷病名	両下腿開放粉碎骨折、右下腿骨髓炎 他				休業日数	595日
災害の概要	鋼材（フラットバー）の山積み作業中に山上部のフラットバーが荷崩れし、両下肢を挟まれた				災害類型	④

災害状況	8時30分	始業ミーティング
	9時30分	被災者Aは一人で、半門クレーンを使用し丸鋸切断用フラットバー①を昼の休憩前に4枚、休憩後に4枚、計8枚を丸鋸切断機横の材料置場の敷板上に重ね置きました。
	12時00分	昼食および休憩
	12時55分	天井クレーン運転者B（地上テレコン操作）は、スリングで吊ったフラットバー②3枚を材料置場にある①材料8枚の上に荷の中心を確認した後着地させ、被災者Aにスリングを外すよう指示した。
	12時59分	被災者Aは、手前のスリングをフックから外し、反対側のスリングを外そうとした際に鋼材①②が荷崩れし、鋼材②が被災者の上に落下し両下肢を挟まれた。クレーン運転者Bは挟まれた被災者Aを救出後、救急車を要請。
	13時12分	救急車到着、現場にて応急処置後に救急病院に搬送。
	14時05分	救急病院に到着、手術が必要と判断され、15：30より手術開始、19：20頃終了。
(※) フラットバー①：32×250×6000mm（377kg/枚）、②：40×250×6500（510kg/枚）		

<荷崩れ前の山状態（再現）>



<荷崩れ後の状況>



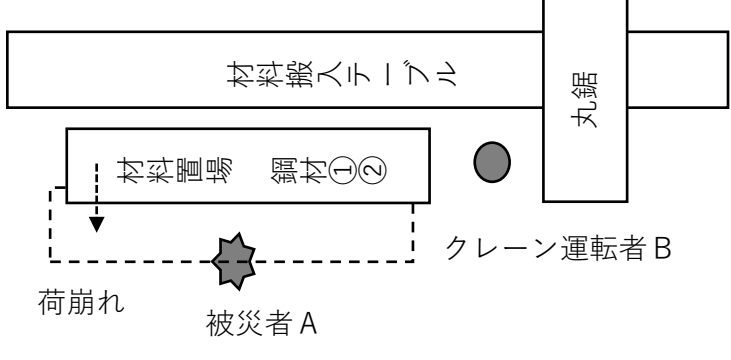
スリング

鋼材② 3枚

敷板

鋼材① 8枚

搬入テーブル



被災者A

荷崩れ

クレーン運転者B

原因	荷崩れの原因は、敷板、枕木及び①②の荷姿が不安定で、重量バランスが崩れ荷崩れしたと推定。
----	--

対策	①安全作業標準改定（鋼板・製品山建てをより詳細に明文化） 鋼材・製品山積み高さの制限（最大高さ）、荷積み重ね遵守事項（中心）、枕木の使用（配置）基準等 ②鋼板工場全員に対し教育指導。（平成30年4月4日以降～平成31年1月末までに16回実施）
----	---

【災害類型】 ①墜落・転落 ②転倒 ③飛来・落下 ④挟まれ ⑤巻き込まれ  
⑥切れ・擦れ ⑦熱傷 ⑧感電 ⑨火災・爆発 ⑩その他

注)  網掛け部の記入は任意とする。それ以外は必ず記入をお願いします。